

聴かせてください
あなたの声

～日本共産党仙台市議団 市政アンケート～

長引くコロナ禍、相次ぐ物価の上昇…。くらしも営業も本当に大変です。市民を支える市政前進へ。みなさんの声をさらに届けてがんばります。ぜひ、ご協力ください。

日本共産党仙台市議団

F A X：211-8084
メール：jcpsendai@nifty.com
ネットでも回答できます↓



以下の設問で、該当する項目に○をしてください（複数回答可）

1 新型コロナウイルスの感染拡大や物価高などにより、くらしにどんな影響がありますか？

1. 収入の減少
2. 売上の減少
3. 失業した
4. 倒産・廃業した
5. 仕事が減った
6. 家計のやりくりが大変になった
7. 退学・休学した、または検討している
8. その他（ ）

具体的に…

2 子育て・教育についての要望はありますか？

1. 保育所の待機児童対策
2. 幼稚園・保育所の保育料軽減
3. 放課後児童クラブの充実
4. 子ども医療費助成の拡充
5. 学校給食の無償化
6. 就学援助制度の拡充
7. 給付型奨学金の創設
8. ヤングケアラー支援策
9. ひとり親家庭への支援
10. その他（ ）

具体的に…

3 医療・介護・福祉についての要望はありますか？

1. 新型コロナ対策
2. 医療体制の充実
3. 国保料・介護保険料の減免
4. 医療費の負担軽減
5. 4病院の統合・移転の撤回
6. 介護保険利用料の負担軽減
7. 介護施設の整備、増設
8. 在宅介護への支援
9. 障がい者支援策
10. ひきこもり支援
11. 補聴器購入への補助
12. 認知症対策
13. その他（ ）

具体的に…

4 安全・防災・被災者支援についての要望はありますか？

1. 避難所の環境整備
2. ライフラインの整備と早期復旧
3. 被災者の生活再建
4. 被災住宅への復旧支援
5. 復興公営住宅の家賃への支援
6. 住宅の耐震助成の拡充
7. ハザードマップ（防災マップ）の周知
8. 帰宅困難者への支援
9. 障がい者や要介護者への支援
10. 防災教育の強化
11. その他（ ）

具体的に…

裏面もあります

切り取ってお送り下さい

子育て支援を 充実させよう



●学校の特別教室と体育館にエアコンを

7月初めからの猛暑にエアコンが大活躍しました。しかし、理科室や家庭科室等の特別教室や、別室登校の児童生徒が学ぶ教室は設置対象ではありません。スクールカウンセラーの相談室は秘密保持で窓もカーテンも閉めるのにエアコンがなく汗だく、という異常な状態に。校内すべての教室と避難所になる体育館にもエアコンを設置すべきと迫りました。

●保健室の先生は複数配置に

具合が悪くなったりけがをした時に子どもたちが訪れる保健室。当局は生理用品の配布も「保健室で対応する」といいますが、「保健室が不在になることがある」と認めています。子どもが学校にいるときは保健室対応ができるよう、養護教諭の複数配置を原則とすべきです。

●折立保育所の廃止ストップ

市は6月に公立保育所の建替え等に関するガイドラインを更新し、地域拠点保育所以外の公立保育所について民営化もしくは段階的な定員減・廃止を進める等の方針を定めました。その1例目として進められようとしているのが折立保育所の統合廃止です。決算審査の中で、市が誤った資料に基づき検討を行ったことや廃止ありきで根拠を後付けしたことが判明。今ある公立保育所すべてを拠点保育所とし、市の責任で建替えを行うよう求めました。

●子ども医療費助成は急ぎ拡充を

所得制限の撤廃が決まったものの、県内で一部自己負担を残しているのは仙台市と富谷市、対象年齢が15歳までとなっているのは仙台市と白石市のみ。県内最低となっている子ども医療費助成の拡充は急務の課題です。

●児童クラブに昼食を

児童クラブの保護者から「長期休みのお弁当持参が大変」との声が寄せられています。お弁当を持ってこれない子や食べずにお昼前に帰る子どもも。八王子市では給食センターなどを活用して一部の学童保育で5日間提供。札幌市では夏休み中4日間、民間事業者と連携してお弁当提供の試行実施を行い、本格実施に向けた検討を行っています。仙台市でも、来夏にむけて検討すべきと求めました。

●35人以下学級を全学年に

国が小学校の学級編成基準を35人とし、毎年一年ずつ35人学級を拡大してきました。予定通りに進むと来年度には小学6年生だけが40人学級のまま卒業年度を迎えることに。体も心もぐんと成長する時期に、6年生だけを残すことなく、教職員の採用人数を増やしてすべての学年で35人以下学級とすべきです。

国葬、半旗掲揚、 統一協会問題で 市政をただす

安倍晋三元首相の国葬が、9月27日に実施されました。国民の批判や疑問の声にこたえず、法的根拠のない憲法違反の儀式を強行したことは重大です。9月12日の代表質疑では、市として国に中止を求めるべきだと迫りました。国葬を実施することは、時の政権の判断によって、特定の個人を特別扱いし、法の下での平等を規定した憲法14条と相いれないこ

と。また、岸田首相は国葬を「個人に対する敬意と弔意を国全体としてあらわす儀式」だと述べましたが、思想・良心の自由を保障する憲法19条に反することは明らかだと指摘しました。さらに、国民主権に基づいて多様な市民の意見にこたえるのが首長であり、過半数にのぼる国葬反対の意思を市政にどう反映させるつもりなのかとたどしました。



市長・教育長に半旗掲揚に抗議し、弔意の強制は行わないよう要請しました(8月9日)



仙台市議会議員に対し、統一協会との関わりを市議会みずから調査し、公表することを求めて要請しました(8月31日)市長にも要請を行いました。(9月2日)

●「電気・ガス・食料品等 価格高騰緊急支援給付金」

住民税非課税世帯と、同様の状況にある家計急変世帯を対象に、11月から一世帯当たり5万円が支給されます。今回「コロナによる」要件はありませんので「家計急変世帯」で困りの方は申請をしてください。非課税世帯の方には確認書が届きますので返送してください。

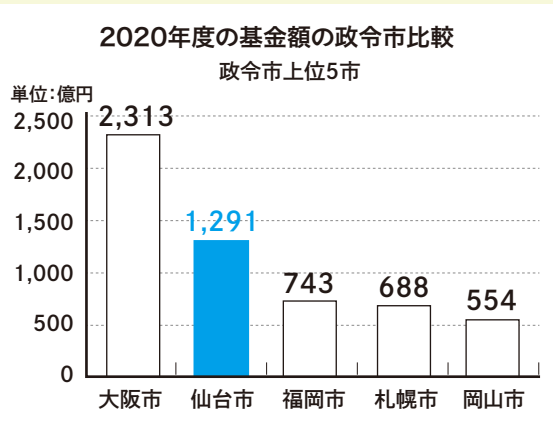
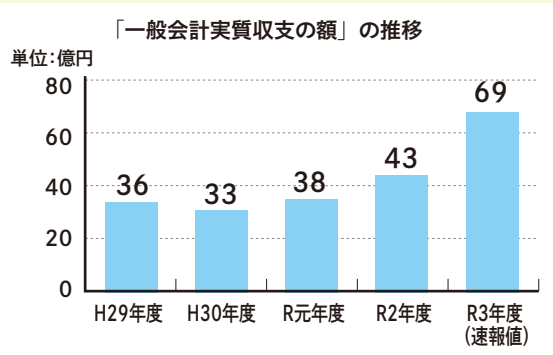
●コロナから命と健康を守る

全数把握の見直しによって、市民の誰一人も、どの機関にもつながることなく命を失うようなことが起きてはならない。健康フォローアップセンターの体制強化と充実、自宅療養者の食料品等の助成制度の拡大を求めた。



●仙台市の財政は「黒字」

2021年度決算の実質収支は69億円もの黒字。国への返還金を差し引いても約39億円の黒字。決算年度には一律3%のマイナスシーリングがかけられ8億3000万円削減したとのことだが、市民にとって身近な行政サービスを削る必要はなかったということ。基金の総額も条例に基づく積み立てを予定通り行って総額1348億円に。仙台市に「お金」はある。



この冬の灯油価格は過去最高額。食料品もあいつぐ値上げ。第3回定例会では、市民が寒さに震えながら過ごすことがないよう、市の財政力を生かして、市民生活を支える施策の充実を求めました。

●エネルギー、物価高から 市民生活を守る

●上下水道の基本料金分の減免

札幌市では市民生活支援として今年10・11月の水道料金基本料金分の減額を実施。仙台市も昨年度実施して市民に大変喜ばれたが、決算で43億円もの黒字を出している水道局と市長が協力して再度の減額を行うべき。

●学校給食費の無償化

コロナ対策の国の臨時交付金を活用し、全国で無償化が広がっている。食材費の市民負担を前提として高騰分のみを負担するのではなく、現在負担を求めている学校給食費は無償化を目指して、半額でも3分の1でも早急に助成を。

●農業支援

共産党 肥料や資材の価格高騰に伴う農業者への市独自の支援を行うべき。
経済局長 国の支援と合わせ、市の支援策を検討し準備を進める。

●事業所支援

帝国データバンクによれば「物価高倒産」が急増している。これまでのように売り上げ減少率に着目した支援ではなく、エネルギー価格高騰対策支援など、費用の増加や利益率の低下に着目した新たな事業所支援を打ち出すべき。

●暖房費への支援を今年も

昨年度は市で、低所得者への支援として臨時特別給付金に冬期暖房代補助、一世帯5000円上乗せをし、保育所や高齢者施設等を対象に暖房用燃料費等補助金も実施した。昨年以上のエネルギー高騰の今、当然実施されるべき。

富沢小学校、富沢中学校の過大規模校解消を

決算分科会で過大規模校である富沢小学校と富沢中学校について、現場からの声や要望を紹介し、市教委に改善を求めました。

具体的には、小学校2年生と3年生が利用するトイレと手洗い場の水道の蛇口の数を増やすこと。特別教室を普通教室に転用した部屋に通常のエアコンを設置すること。学校側の要望に添った補助員の増員を求めました。

富沢中学校については、運動会で市体育館や市の総合運動場の優先使用を認めること。富沢小学校、中学校ともプレハブ校舎や校舎増築の他に教職員を増やすなどの対策を求めました。

市の推計では、両学校は今後も児童生徒数が増える見込みです。富沢中学校は分離新設も視野に入れて検討すべきではないかと提案しました。

嵯峨 サダ子

職員の高い見地で生活困窮者支援をもっと

仙台市には、関係各局で情報共有と連絡調整を図り、生活困窮者の早期把握と包括的支援を行う、「生活困窮者自立支援連絡会議」があります。「ケース支援検討会議」で、困窮している個人の支援を行う仕組みもあるものの、一昨年7件、昨年4件、今年度はこれまでに1件という少なさです。困窮している方が「少ない」のではなく、徴収や収納に

携わる職員が滞納をSOSのシグナルととらえることが求められています。そのためにはガスや水道はもちろん、民間の電気事業者への協力・連携の働きかけも欠かせません。市民生活の中でかわるすべての部署の職員が、一人一人に寄り添い、生活再建のための自立支援連絡会議をもっと活用するよう求めました。

ふるくぼ 和子

子どもの貧困対策施策の充実とこども食堂助成制度の継続と発展を

日本の子どもの貧困率は13.5%で約7人に1人、中でもひとり親世帯では48.1%で約半数が貧困状態と言われています。2021年に国が行った子どもの貧困調査ではコロナ禍でより大きな経済的打撃をうけ、さらに厳しくなっていることが明らかになっています。仙台市においては様々な子どもたちがつどい、大人が見守る子どもの安全な地域の居場所と

して「こども食堂」が市民協働で発展してきました。市はこれまで「こども食堂助成制度」を作って応援し現在、市内では50ヶ所を超えるこども食堂が活動しています。ところがこの制度を5年間としているため、今年が最終年度となります。「こども食堂助成制度」の継続と発展の表明を一日も早く行うべきと市に求めました。

高見 のり子

国の交付金や市の基金を活用していまこそ市民生活・なりわいへの直接支援に

1か月にわたる議会のさなか、都道府県や市町村に配分する、国の地方創生臨時交付金の仙台市への交付上限額が、18億5900万円ということがわかりました。長引くコロナ禍に加えて、10月には、今年最多6500品目以上の値上げラッシュ。所得は増えないのに、負担ばかりが重くのしかかり、市民生活も地域経済も悲鳴を上げていると、一刻も早

く交付金を活用した支援策を実施するよう強く求めました。2021年度の決算が明らかになった今、使い道が特定されていない財政調整基金は70億円、中小企業活性化基金もまだ13億円余力があることも指摘。市の財政の優位性を今こそ發揮して、市民のくらし応援を!と議論しました。

すげの 直子

森林の保全と整備を根本から問う

茂庭のメガソーラー計画が明らかになったもとので、一般質問では、森林をめぐって踏み込んで質問しました。丸森町廻倉地区で、山林の崩壊が起きた箇所のうち、98%で人為的な森林伐採が行われていたことを示し、水害と森林伐採の関係を明らかにしました。太陽光パネルは、建築物の屋根や耕作放棄地等への設置こそ推進すべきであり、安易な森林伐採は地球温暖化対策に逆行すると迫

りました。

また、仙台港周辺の2つのバイオマス発電所について、宮城県の面積に相当する広大な森林分の木材が必要になることを示し、計画の中止をうったえました。

長期サイクルで間伐だけを行う自伐型林業は森林保全に優れていると提案し、森林アドバイザー養成講座に盛り込むことを検討するとの答弁がありました。

高村 直也

持続可能な農業への支援を!

決算審査で農業施策を取り上げました。農業園芸センター再整備によりにぎわいを取り戻した一方、営農指導など農業者支援拠点としての役割が弱まっていることを指摘し市のさらなる取り組みを求めました。また、沿岸部の農地は津波により肥沃な土壌が流され地力の低下が課題となっています。鶴岡市等が進める下水汚泥の堆肥化をはじめ肥料

の地産地消を提案しました。三本塚の集落保全隊の事例を紹介し、農村集落の維持には農家だけでなく非農家の存在が不可欠であり、市街化調整区域では農家・分家住宅の建築を認めるだけでは集落維持は困難となることを指摘し対策を求めました。経済局長は「他局や関係機関と幅広く取り組み本市農業の持続的発展に努める」と答えました。

庄司 あかり

就学援助が拡充、申請書配布へ前進

繰返し求めてきた認定基準額の引き上げが今年度から実現し、昨年度一年間で7305人だった利用者は今年9月までに7914人となったと発表しています。6月議会で求めたり、成果が表れています。申請書のホームページのダウンロードも実現し、来年度には全保護者に申請書を配布できるよう準備が進められています。

4病院統合・移転問題 仙台市の医療体制を後退させない

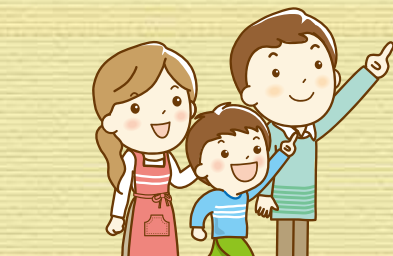
仙台赤十字病院や労災病院はじめ市内の医療体制を守るための方策として、周産期や救急医療などで役割を果たす病院に市が新たに支援を打ち出すことや、地域医療支援病院には建て替え補助を行うこと、回復期病床の拡充に取り組む際の支援を行うなど、考えられるのではないかと提案しました。

茂庭メガソーラー 大規模な森林伐採を伴う計画は中止せよ

茂庭地域に約100haの大規模なメガソーラー計画が明らかになりました。地域では、森林伐採などによる、水害や農業への懸念が広がっており、地域でメガソーラーについて考える「おいで里山の会」も結成されました。森林法やFIT認定を厳格化し、乱開発を抑制するよう求めました。

加齢性難聴の補聴器購入助成を

補聴器で聞こえがよくなることで認知機能の低下を防ぐことや社会参加につながる効果が認められています。相模原市や新潟市ではモデル事業として購入補助を始めています。仙台市でもモデル事業として効果を確かめながら高齢者の健康づくりを応援するため助成すべきと求めました。



5 ジェンダー平等・人権についての要望はありますか？

1. 男女の賃金格差をなくす
2. 選択制夫婦別姓の実現
3. パートナーシップ制度の実現
4. 公共施設の改善(トイレなど)
5. ジェンダーレス制服の導入
6. 公的書類での性別記載の廃止
7. 性的ハラスメント、性暴力をなくす
8. その他 ()

具体的に…

6 環境対策・まちづくり・交通についての要望はありますか？

1. 地球温暖化対策
2. 再生可能エネルギーの促進
3. 女川原発再稼働の中止
4. ごみ減量
5. 乱開発による自然破壊の中止
6. 交通渋滞の解消
7. 道路整備、歩道の拡充
8. 自転車の安全な通行推進
9. 公園の整備
10. 街路樹の管理、整備
11. バス路線の維持、拡充
12. バス・地下鉄の運賃引き下げ
13. 敬老バスの拡充
14. 新たな地域公共交通の整備
15. その他 ()

具体的に…

7 市政にのぞむことは、ありますか？ また、ご意見・ご要望がありましたら、何でもご自由にお書きください。

8 よろしければ、あなたのことを教えてください。(該当する項目を○で囲んでください)

- 年代 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上
○お住まいの区 青葉区 宮城野区 太白区 若林区 泉区 市外

※お名前	※電話番号 ()
※ご住所 〒	—
※メールアドレス	

※は任意です。(ご記入いただいた方へは、アンケート結果の報告等をお送りさせていただきます。)

ご協力、ありがとうございました。